

# 東高リベラルアーツ通信

No. 3

2025年11月20日発行



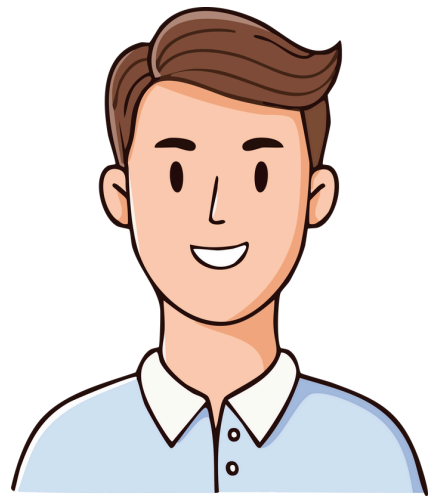
11月は、アドバイザーの石橋先生と  
ゼミ担当の先生方数人で対話をしました。  
通信第3号は、対話の中で出てきた事例を  
対話で分かりやすく解説します。

# 事例① テーマ決めで苦しんでいる

何も興味ない。分らない。  
浮かんでこない。



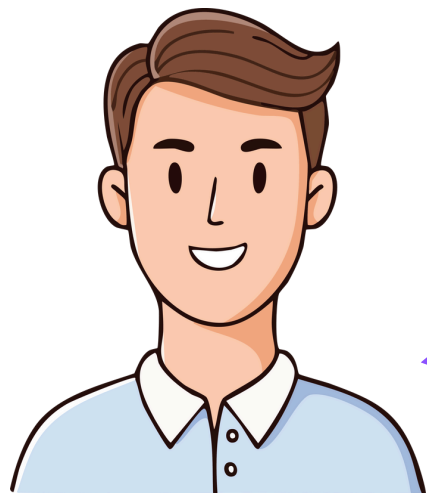
自分の性格は？ 生活習慣は？  
好きなアニメは？ 好きなドラマは？



言葉にならないので  
言葉で表現できません。



絵・落書き・イラストでもいいよ。  
簡単なタイトル付けるといいね！



## 事例② ゼミの人数が多すぎる！！

人数いっぱい過ぎて、ゼミの先生と  
対話ができない＞＜

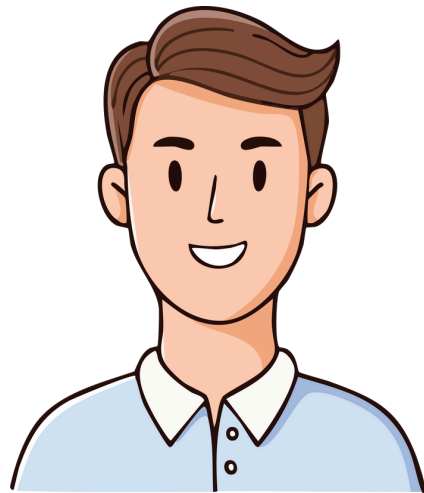


ワークシートを使って、先生とやりとりする  
グループごとに進捗を報告して議論する  
グループを変えて、新たな視点を得る  
などが考えられます。



# 事例③ フィールドワークについて

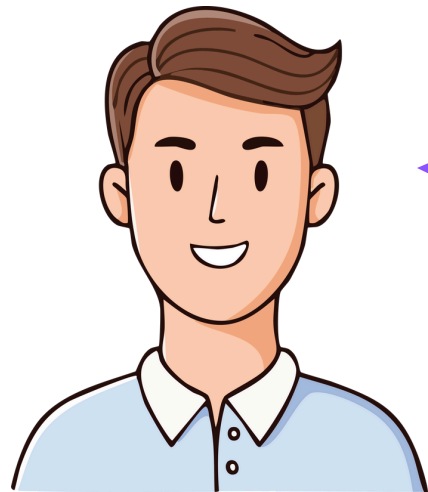
誰に聞いてもいいの？



外に出ることが大事

どんなこと聞けばいい？

結論ありきにならない多様な質問を考えて。  
企業は秘密もあるので注意必要



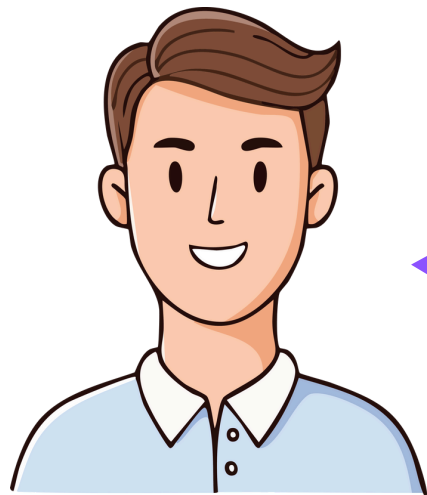
同じようなテーマの人いるんだけど

聞く人によって視点が違うから  
比較すると面白いかも



# その他 先生方から

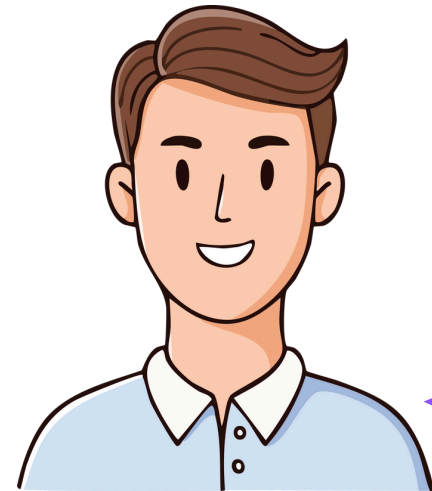
何か良いツールありますか？



齋藤教頭先生が、福島北高で使用していた独自の探究フィードバックのツールがあります。渡部純ゼミ、梅宮ゼミも順調に動いているので、対話してみてください。



そのテーマは教科専門外なのですが・・・



専門教科の先生の方へ行かせましょう。  
来た生徒は、先生方誰でも面倒をみましょう！

